

全国障体研『春の学習会』のご案内

主催 全国障害児体育研究連絡協議会

私たちは39年にわたって、障がい児のこころとからだの主人公をめざし、からだ・体育実践の創造をすすめてきました。1987年には10周年記念誌を発行し、その後民舞や性教育の実践のまとめなども行いました。そして2001年8月、かもがわ出版より『からだ・体育の授業づくり～こころとからだの主人公に』を発刊し、広く活動を知っていただく機会を持つこともできました。2011年スポーツ基本法が策定され、年齢や障がい等を問わずあらゆる人々の参画できるスポーツが推進されるようになりました。私たちが長年積み重ねてきた従来の競技スポーツの枠を超えたさまざまな実践は、障がいのある子どもたちだけでなく幅広い取り組みとして期待されるようになってきています。(詳しくは全国障体研で検索下さい)

東京と関西それぞれ地域での学習会を行いながら、夏は東京・春は関西で全体学習会も行ってきています。参加者も学校関係者だけでなく医療・福祉関係者などの参加も少しずつ増えてきています。多くの人たちの参加をお待ちしています。

日程：3月25日(土)～26日(日)9時30分～受付、10時開会
内容

	9:30	10		12	13		16:30
25日	受付	開会	[基礎講座] 「人間の運動発達から学ぼう」 *運動面のつまずきを発達の視点から見直し、その手立てを考えます。	昼休み	[教材紹介①] 身体活動の基礎となる力(支える力やバランスを保つ感覚など)を楽しく取り組みながら高めるための教材を紹介します。	[教材紹介②] ペットボトルなど身近な素材を使って作れるものや、簡単に用意して楽しめる教材を紹介します。	

	9:30	10		12	13		15:20	16:00
26日	受付	[走運動] 安定した歩行やみんな で楽しく走るための工夫などの取り組みを紹介します。	昼休み	[ダンス] 年齢や障がいに配慮して、ダンスの取り組み方の基礎を紹介します。	感想交流	閉会		

会場：大阪府立箕面支援学校 箕面市船場東3丁目15番1号

参加費：500円(資料代)／日

参加申し込み・問い合わせ：事務局 佐々木和彦まで

電話 080-3763-4068

メール yurayuraisu@yahoo.co.jp

[基礎講座] 人間の運動発達から運動面のつまづきを考えます

バランス保持やからだを支える力などが弱いなどでスムーズな動きに難しさをもつことがあります。繰り返しだけではうまくならない場合、子どもの問題点に合わせた取り組みも必要となってきます。その手立てを赤ちゃんの発達から学びます。四つ這いや膝立ちなど時期の課題が大切と考えます。

[教材紹介①] 身体活動の基礎となる力を高める教材を紹介

揺れ刺激を楽しみながら、自然にバランス機能やからだの支持性を高めていく感覚運動機器などを紹介します。運動障がいや知的障がい共通で活用できるものもあります。揺れるイス・台車でのかままり立ち・大きな布の輪など。

[教材紹介②] 身近な素材で簡単に使えるもの

“ペットボトル”などを使って

- ・ペットボトル砲：1.5Lサイズ（炭酸用）と500mlのペットボトルを組み合わせて作った、球がよく飛ぶ教材を紹介します。
- ・空気砲：小さなペットボトルと風船で作った教材と活動例を紹介します。
- ・ペットボトル立て：棒の先に付けた輪を使い立てます。
- ・その他、投げた時のくっつき方や感触がおもしろく、様々な活動にアレンジして使えるボールなども紹介します。



[走運動] 安定した歩行や走りを目指した取り組みを紹介

運動では歩く走る動作が基本となります。不安定さをもつ子どもたちもみんなと一緒に楽しく取り組むための教材を紹介します。また競争も早い遅いに関わらず楽しめる工夫を紹介します。さざなみ走（向かってくる縄を跳び越える）・ぐるぐる走（ぐるぐる回りながらスタートする）など。またおなじみのやる気ゼッケンも改めて紹介。

「ダンス」

関西障体研で「ダンスをする会」を長年取り組んできています。その中での取り組みを紹介しながら、ダンスに取り組むにあたっての基本や配慮点などを紹介します。

会場案内：大阪府立箕面支援学校

*公共交通機関の場合

北大阪急行・大阪モノレール千里中央駅より阪急バス「箕面行」又は「北緑丘団地経由豊中行」に乗車。乗車時間は約5分です。

「新船場南橋」で下車、北東に約800m（徒歩約10分）で到着します。

*歩いて20分程度ですが、急がれる場合はタクシーをご利用ください。

